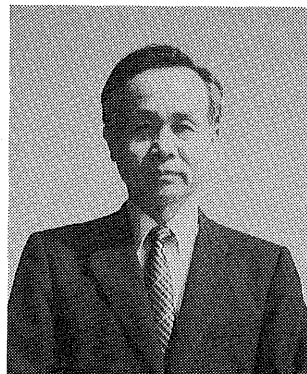


## 略 歴

- 昭和5年6月15日 兵庫県神戸市上沢通り6丁目28番地に生まれる
- 昭和23年4月 広島高等師範学校文科第1部国語科入学
- 昭和24年6月 広島大学教育学部高等学校教育科国語専攻入学
- 昭和28年3月 同卒業
- 同年4月 広島県立呉三津田高等学校教諭
- 昭和30年4月 東京教育大学大学院教育学研究科教育学専攻人文科教育専修入学
- 昭和33年3月 同修士課程修了
- 昭和37年3月 同博士課程単位取得退学
- 同年4月 埼玉県立松山高等学校教諭
- 昭和39年4月 埼玉県立浦和西高等学校教諭
- 昭和42年4月 富山大学講師教育学部
- 昭和44年11月 同助教授
- 昭和52年10月 同教授
- 昭和53年4月 筑波大学教授教育学系
- 平成6年3月 博士(教育学)(「大正・昭和初期における生活表現の綴り方の研究—東京高師付小教師の実践と理論—」筑波大学)
- 同 筑波大学定年退職
- 平成6年4月 筑波大学名誉教授



## 業 績 目 録

### (1) 著書 (単著)

1	作文教育の探究—目標と方法の原理—	私刊A 5 P184	昭40年2月
2	作文指導法の理論	明治図書A 5 P194	49・4
3	児童文学教材の研究 賢治・南吉・鳩十	鳩の森書房A 5 P235	50・10
4	児童文学と国語教育	鳩の森書房A 5 P223	51・9
5	演習 幼年文学—絵本と読書指導—	鳩の森書房A 5 P217	52・7
6	絵本の読みきかせ	鳩の森書文庫判 P124	53・1
7	ガレー 作文指導法の理論 (翻訳)	鳩の森書房A 5 P220	54・5
8	近代国語教育史	鳩の森書房A 5 P502	54・10
9	あらゆる機会をとらえる作文指導	明治図書A 5 P212	55・2
10	国語教材研究シリーズ6 幼年教材	桜楓社A 5 P134	56・2
11	続 児童文学教材の研究 今江・今西・斎藤	鳩の森書房A 5 P241	56・9
12	国語科教育学	教育出版センターA 5 P261	58・4
13	作文教育論2 言語生活的作文の指導	文化書房博文社A 5 P240	59・6
14	作文教育論3 言語生活的作文の実践研究	文化書房博文社A 5 P219	59・11
15	作文教育論1 作文教育における目標と方法の原理	文化書房博文社A 5 P225	61・3
16	国語教育の人間化	学芸図書B 6 P228	63・11
17	言語生活的作文の指導シート	学芸図書B 6 P175	63・12
18	国語科指導の技術学	光村図書A 5 P450	平5・2

### (非学術的著書・共著共編書)

1	『幼年童話集 ぬげないかいじゅうふく』	富山児童文学会A 5 P148	47・6
2	富山児童文学協会編『童話集 富山のメルヘン』(共著) 北国出版新書判	P160	48・1
3	日本作文の会・富山県編集委員会編『子ども風土記 富山』(共編)	岩崎書店A 5変型 P258	48・3
4	北日本新聞小中学生詩選評会編『七時は子どものくになのに』(共編)	富山作文の会A 5 P132	51・6
5	句集 老牛抄 私刊B 6 P106		平3・8

(2) 論文等 (学会誌・単行本掲載)

- 1 作文教育における方法原理の研究—イギリス作文教育論から—  
広島大学国語国文学会『国文学攷』第24号 P50～59 昭35・11
- 2 作文教育はどういう角度から問題にされるか—イギリス作文教育論から—  
広島大学教育学部光葉会『国語教育研究』第3号 P62～70 36・4
- 3 作文教育に関係する言語指導観の類型  
埼玉県高等学校国語教育研究会『研究集録』第1号 P43～49 36・12
- 4 作文教育の基礎としての思考と伝達について—その位置づけのために—  
広島大学教育学部光葉会『国語教育研究』第5号 P29～37 37・11
- 5 作文教育における用具教科的目標の処置について  
埼玉県高等学校国語教育研究会『研究集録』第2号 P16～21 37・12
- 6 記述的伝達と理解力指導—作文教育における一つの問題—  
広島大学教育学部光葉会『国語教育研究』第7号 P59～67 38・5
- 7 作文教育における目標の構造  
埼玉県高等学校国語教育研究会『研究集録』第3号 P10～15 38・12
- 8 自己表現の要求に関する二三の問題  
広島大学教育学部光葉会『国語教育研究』第8号 P908～916 38・12
- 9 作文指導計画の5つの類型について  
埼玉県高等学校国語教育研究会『研究集録』第4号 39・12
- 10 作文教師の仕事と性格  
埼玉県立浦和西高等学校『研究集録』第1集 P40～51 40・4
- 11 作文指導における評価活動の性格  
実践国語研究所『実践国語』第27巻321号 P31～39 41・8
- 12 作文指導における評価活動の方法(1) 同上324号 P67～70 41・11  
同上 (2) 同上325号 P3～7 41・12  
同上 (3) 同上228巻326号 P7～11 42・1
- 13 英国における近代母国語教育の成立—比較国語教育学をめざして—  
埼玉県立浦和西高等学校『研究集録』第2集 P2～15 42・3
- 14 作文指導における点検作業の方法—評価作業の一類型として—  
広島大学教育学部光葉会『国語教育研究』第13号 P53～61 42・6
- 15 明治10年代におけるいくつかの国語教授論について—作文教授論を中心にして—  
『富山大学教育学部紀要』第16号 P14～24 43・3
- 16 作文指導における動機づけの方法  
全国大学国語教育学会『国語科教育』第15集 P49～55 43・3

- 17 作文指導における公開・補足作業の構造  
『富山大学教育学部紀要』第17号 P15～27 44・3
- 18 作文における取材指導の構造 同上 第18号 P1～14 45・3
- 19 作文における加筆・批評作業の構造—批評活動の一類型として—  
広島大学教育学部光葉会『国語教育研究』第17号 P50～58 45・6
- 20 作文における記述指導の構造『富山大学教育学部紀要』第19号 P15～28 46・3
- 21 随意選題提唱をめぐる諸問題  
全国大学国語教育学会『国語科教育』第18集 P14～18 46・3
- 22 作文における構想指導の構造『富山大学教育学部紀要』第20号 P13～22 47・3
- 23 大正初期の一読み方教授案について—もう1つの「冬景色」の授業—  
同上第21号 P1～9 48・3
- 24 書くことの指導具体事令 A感想・感動の文章, B主題・構想・叙述編  
『中学校高等学校国語科教育法』桜楓社 P149～156 48・1
- 25 明治後期作文教授論の地方的状況—『富山県教育会雑誌』論文から—  
広島大学教育学部光葉会『国語教育研究』第20号 P40～48 48・12
- 26 新美南吉論を深めるために—巽氏の削除を中心に—(200号記念論文)  
日本児童文学者協会『日本児童文学』1974年2月号 P48～70 49・2
- 27 多胡羊歯の童謡と児童詩教育—富山県国語教育史研究—  
『富山大学教育学部紀要』第22号 P1～12 49・2
- 28 「赤い鳥」における児童詩教育の一例—富山の教師多胡羊歯のばあい—  
全国大学国語教育学会『国語科教育』第21集 P24～30 49・3
- 29 国語科教育の先達  
熊沢・中西・野地編『小学校国語科教育法』桜楓社 P137～140 50・1
- 30 作文の学習指導  
全国大学国語教育学会『国語科教育学研究』学芸図書 P108～113 50・4
- 31 報道文「シルクロードの旅」指導研究 望月・長谷川編『中学校論説・  
説明文の授業—全国実践事例』右文書院 P179～190 50・11
- 32 児童文学教材の研究方向 全国国語教育学会『国語教育誌』第16号 P2～12 51・2
- 33 読みの指導過程の成立条件  
井上・野地編『国語科教育学研究2』明治図書 P67～76 51・4
- 34 富山の民話読み物考—松谷みよ子の再話その他—  
『富山大学教育学部紀要』第24号 P12～21 51・3
- 35 富山県国語教育史ノート—明治期—  
全国大学国語教育学会『国語科教育』第23集 P59～65 51・3
- 36 「和太郎さんと牛」論

	日本児童文学者協会編『新美南吉童話の世界』ほるぷ P150~158	51・7
37	言語表現と創造的思考 7. 言語表現と創造的思考 和田義信編『考えることの教育』第一法規 P243~256	52・1
38	富山県国語教育史ノート—大正・昭和前期— 富山大学教育学部国語教育学会『富山大学国語教育』第2号 P36~44	52・8
39	読みきかせにおける発問法の研究 『富山大学教育学部紀要』第26号 P13~23	53・3
40	国語科の資料と教材研究 全国大学国語教育学会編『小学校国語科教育研究』学芸図書 P86~88	53・6
41	随意選題論への地方教師の関与—西野米次郎の場合— 全国大学国語教育学会 有志編『石井庄司博士喜寿記念論文集 国語教育学研究』学芸図書 P282~300	53・8
42	国語教材研究の方法 飛田・藤原編『新国語科教育講座5』明治図書 P48~61	54・5
43	学習指導の方法 作文 全国大学国語教育学会『中学校高等学校国語科教育研究』 改訂版学芸図書 P36~43	54・5
44	教師発言の分析による国語科授業研究試論 広島大学教育学部光葉会『国語教育研究』第26号 P148~157	55・11
45	方法論—学習指導過程の再検討— 増淵・小海・田近編『講座中学校国語科教育 の理論と実践1』有精堂 P105~118	55・11
46	作文力指導観の推移と展望 全国大学国語教育学会編『講座国語科教育の探究2』明治図書 P134~153	56・2
47	文章表現力の実態をどうとらえ、どう伸ばすべきか 全国大学国語教育学会『国語科教育』第28集 P8~13	56・3
48	表現の学習指導 作文 小学校 全国大学国語教育学会編『新版国語教育学研究』学芸図書 P37~42	56・5
49	言語教育の内容と方法 筑波大学教育学研究会編『現代教育学の基礎』ぎょうせい P274~277	57・7
50	物語文指導の困難点 日本国語教育学会『国語教育研究』第126号 P45~49	57・11
51	著作者と作品—児童文学 三好行雄監修『国語科指導資料集1 現代文編』 東京法令 P366~375	57・8
52	表現指導資料 馬淵和雄監修『国語科指導資料集3 表現言語編』東京法令 P254~270	57・8
53	文学教材と道徳教育 日本道徳教育学会『道徳と教育』第240号 P9~13	58・11

- 54 国語教材の本質と研究の仕方 飛田・小林編『最新中学校国語科指導法講座 1  
国語科指導法総論』明治図書 P142～151 59・4
- 55 自己表現的作文の今日的再生  
日本国語教育学会『国語教育研究』第145号 P2～6 59・6
- 56 ミニ・ティーチングの一例—国語科教育法における授業研究の実践例—  
筑波大学人文学科教育学会『人文学科教育研究』第11号 P1～12 59・9
- 57 保科孝一・山路兵一・高木市之助・丸山林平（項目）  
唐沢富太郎編著『図説教育人物事典 中』ぎょうせい 59・4
- 58 明治の国語教育（項目）田近・井上編『国語教育指導用語辞典』教育出版 59・10
- 59 小学校学習指導要領（国語）用語解説（音読と朗読，感想や意見，感想や意見・  
主張，事柄の順序，作文の推敲，視写や聴写，取材・題材，主題・要旨，内容の  
中心点，場面の様子，文章の組立て）  
藤原・渡辺監修『国語資料 理解事項辞典』全教図 60・4
- 60 ミニ・ティーチングにおける示範法の一例—国語指導演習の方法の工夫—  
全国大学国語教育学会『国語科教育』第32集 P123～130 60・3
- 61 言語生活的作文の必要性（シンポジウム提案）  
日本国語教育学会『国語教育研究』第160号 P28～29 60・9
- 62 表現教育の機会と方法—言語生活的作文の場合—全国大学国語教育学会編『表現  
教育の理論と実践の課題』明治図書 P90～103 61・2
- 63 主知主義から人間性の回復へ—言語生活的作文領域の解放—  
日本国語教育学会『国語教育研究』第170号 P3～7 61・7
- 64 ミニ・ティーチングにおける単位指導技術の提示について  
筑波大学人文学科教育学会『人文学科教育』第13号 P1～13 61・9
- 65 児童詩誌『氷柱』について—赤い鳥童謡詩人多胡羊歯の実践—  
滑川道夫先生喜寿祝賀記念論文集刊行委員会編『国語教育の創造的視野』あ  
すなろ書房 P154～164 62・2
- 66 ミニ・ティーチングにおける指導事項と指導方法の把握について—短歌「不来万  
の」を例として—筑波大学人文学科教育学会『人文学科教育』第14号 P1～18 62・9
- 67 文集づくりの基本問題—固定観念の変革の必要性—  
日本国語教育学会『国語教育研究』187号 P28～32 62・12
- 68 ファンタジー指導論—ファンタジーの意味と指導の本質—  
筑波大学国語指導研究会『国語指導研究』第1集 P1～13 63・3
- 69 指導事項・指導技術の単位的抽出について—国語指導演習実施上の1つの問題点  
の検討— 全国大学国語教育学会『国語科教育』第35集 P157～164 63・3

- 70 教育機器にゆだねる新しい指導法の一角  
日本国語教育学会『国語教育研究』第202号 P23~27 平1・3
- 71 芦田恵之助の随意選題提唱への過程—大正初期著作における随意選題の記述—  
筑波大学国語指導研究会『国語指導研究』第2集 P1~14 1・3
- 72 芦田恵之助の随意選題思想の成熟過程—随意選題提唱後における思想説明を中心に— 同上 P15~28 1・3
- 73 私の「現代語」論 明治書院『日本語学』第8巻第5号 P30~34 1・5
- 74 大正初期の随意選題の状況—保科孝一の紹介と諸家の実践—  
筑波大学国語国文学会『日本語と日本文学』第11号 P1~12 1・6
- 75 芦田における随意選題の墮落と折衷定着への過程—友納の批判から「教授細目」の成立まで— 筑波大学人文科教育学会『人文科教育』第16号 P1~15 1・9
- 76 飯田恒作の作文教育実践の研究  
筑波大学国語指導研究会『国語指導研究』第3集 P71~109 2・3
- 77 多胡羊齒の児童詩教育  
社団法人富山県芸術文化協会『とやま文学』第8号 P154~164 2・3
- 78 飯田恒作の初期綴り方教授論の考察—折衷主義と指導要領への意思を中心に—  
『筑波大学教育学系論集』第14巻第2号 P97~208 2・3
- 79 丸山林平の初期綴り方教授論の思想—『新主張』と『生活表現と綴方指導』を中心に—  
筑波大学人文科教育学会『人文科教育研究』第17集 P1~15 2・9
- 80 田中豊太郎の初期綴り方教育論の考察—本質観と生活指導観を中心に—  
『筑波大学教育学系論集』第15巻第1号 P33~45 2・10
- 81 丸山林平の作文教育理論の研究  
筑波大学国語指導研究会『国語指導研究』第4集 P173~112 3・3
- 82 ファンタジーとは何か、どう扱うか—ホール・ランゲッジ運動に立って—  
日本国語教育学会『国語教育研究』229 P4~8 3・6
- 83 飯田恒作における生活指導思想の特色—生活の認識と内省・純化を中心にして—  
筑波大学人文科教育学会『人文科教育研究』18 P7~22 3・7
- 84 千葉春雄の初期著作における綴り方教育の思想—生活の認識とその指導の意味—  
筑波大学人文科教育学会『人文科教育研究』19 P5~16 4・8
- 85 話すことの指導における技術的指導の構造  
筑波大学人文科教育学会『人文科教育研究』20 P1~8 5・8
- 86 千葉春雄の文集批評 筑波大学教育学研究科『教育学研究集録』17 P1~8 5・10

(3) 論説・評論 (商業誌等掲載)

- 1 プロジェクト・メソッドによる作文活動

日本書院『国語通信』第16号 P23~29	昭37・10
2 「書くこと」は特設すべきか 尚学図書『国語展望』第17号 P13~15	42・6
3 幼年童話のことばはこれでよいか—西郷竹彦著『さるかにばなし』— 北陸児童文学協会『つのぶえ』第73号 P12~16	45・4
4 「マスの子ヌルのうまれた川」を読んで 同上 第78号 P28~30	46・2
5 現代作文指導の問題点 国土社『国語の教育』第41巻 P12~19	46・9
6 児童文学同人誌評 富山児童文学会『かもしか星』第10号	47・3
7 新美南吉ノート(1)—うた時計— 同上 第13号 P15~20	47・6
8 同上 (2)—ごんごろ鐘— 同上 第14号 P9~13	48・2
9 同上 (3)—おじいさんのランプ— 同上 第15号 P11~14	48・6
10 多胡羊歯の童謡と私 富山教育会『富山教育』第626号 P30~32	48・8
11 全国各地の研究者と研究動向—富山— 明治図書『国語教育研究年鑑』昭和48年版 P114~115	48・7
12 本を読む子を育てる指導として 同上『国語科研究資料1』P29~30	48・11
13 全国各地の研究者と研究動向—富山— 同上『国語教育研究年鑑』昭和49年版 P113~114	49・5
14 作文スキルブック利用による授業システム 同上『国語科研究資料2』P40~41	49・5
15 持続の方途と文章観確立の問題 同上『国語科研究資料3』P45~46	49・9
16 疎開っ子の『長い道』(柏原兵三著)—少年小説的観点から— 文学ダラの会『文学DARA』第13号 P13~22	48・5
17 多層的読解の重視 明治図書『教育科学国語教育』第201号 P150~153	50・2
18 二極分化の潜在性 同上『国語科研究資料4』P97~98	50・5
19 行動目標採用に関する富山県の実情 同上『国語科研究資料6』P113~114	50・11
20 現代作文をどう認識するか 同上『教育科学国語教育』第218号 P30~35	51・5
21 「だいくとおにろく」論—何を感得させるか— 北陸児童文学協会『つのぶえ』第97号 P48~55	51・4
22 「だいくとおにろく」論—「目玉」と「名前」の問題— 同上 第98号 P95~103	51・7
23 「ぐりとぐら」論・その文学性 同上 第99号 P2~12	51・10
24 学習者研究の位置とあり方 明治図書『教育科学国語教育』第226号 P12~18	51・12
25 作文と国語教育理念の問題 同上 臨時増刊号227号 P25~28	51・12
26 「ちいさいモモちゃん あめこんこん」論—その文学的姿勢—	



	北陸児童文学協会『つのぶえ』第100号 P15~21	52・2
27	斎藤隆介「花さき山」論—文学性的問題— 同上 第101号 P7~14	52・4
28	単元作文から脱皮できるか 明治図書『教育科学国語教育』第237号 P187~190	52・8
29	椋鳩十の文学 児童言語研究会『国語の授業』第21号 P86~90	52・8
30	「一つの花」作品論 同上 第27号 P6~11	53・8
31	授業外作文の促進 明治図書『教育科学国語教育』第258号 P23~28	54・2
32	関連指導の本質と限界 同上 第258号 P69~76	54・2
33	「表現力」の指導をめぐる争点 同上 第262号 P41~49	54・6
34	子どもが主体的に理解・観賞する詩の指導 明治図書『実践国語研究』第15号 P6~9	54・8
35	書かせることを第一に (シンポジウム「表現力を高める言語事項の指導」) 筑波大学附属小学校初等教育研究会『教育研究』1979年 9月号 P47~48	54・9
36	作文を授業として成立させるとは 明治図書『教育科学国語教育』第270号 P70~74	55・1
37	基本的事項と基礎的事項とは区別されるか 筑波大学附属小学校初等教育研究会『教育研究』1980年 6月号 P6~9	55・6
38	国語教育の「言葉」(1~10) 青玄会『国語教室』第110, 111, 114, 120, 126, 137, 139, 145, 182, 183号	55・7~61・8
39	授業モデルの設定とその問題 明治図書『教育科学国語教育』第285号 P15~19	56・2
40	書評 樺島忠夫・中西一弘編『作文指導事典』 同上 第287号 P94	56・4
41	文学教育の目的構造と教材価値の分析 筑波大学附属小学校『1981年度学習公開・初等教育研修会』P79~99	56・2
42	複数の指導過程の設定上の問題点—関連的指導のあり方をめぐって— 明治図書『教育科学国語教育』第293号 P69~75	56・9
43	「かきの実」の教材分析と授業構想 筑波大学附属小学校『1981年度学習公開・初等教育研修会』P102~103	57・2
44	方法の規制要因と当面の課題 明治図書『教育科学国語教育』 第312号 P59~63	58・1
45	基本的方法の確立の必要 明治図書『現代教育科学』第331号 P71~73	59・6
46	表現美と文学性を基本的に押さえて 明治図書『教育科学国語教育』 第333号 P82~83	59・6

47	書き手の立場からみた文章の研究の在り方 光村図書『国語教室相談室』第303号 P4~8	59・11
48	基本的条件に立った深読 明治図書『教育科学国語教育』第343号 P23~28	60・2
49	国語科と他教科との関連—説明文の授業をめぐって— 教育出版センター『実践国語教育情報』第3巻第10号 P88~93	60・10
50	個別学習への助言と「山場」 明治図書『教育科学国語教育』第363号 P21~25	61・5
51	講演集「国語教育と対話」 富山大学教育学部附属小学校 P19~40	61・5
52	読解指導に個人差が生かせるか 東京法令『国語教育』P54~59	61・6
53	(巻頭言) 人間を育てる今日的方法の開発 日本国語教育学会『国語教育研究』178	62・3
54	作文教育史講座 明治前期—形式主義の時代 東京法令『月刊国語教育』62年4月号 P132~137	62・4
55	〃 明治後期—自作文の時代 同上 5月号 P132~132	62・5
56	〃 大正期—口語作文の時代 同上 6月号 P134~137	62・6
57	〃 昭和戦前期—生活表現の時代 同上 7月号 P132~137	62・7
58	〃 昭和戦後期—書くことの時代 同上 8月号 P134~139	62・8
59	〃 昭和脱戦後期—作文法の時代 同上 9月号 P138~143	62・9
60	座談会 新しい国語教育の展望(北川茂治・花田修一・井上輝夫と共に) 東京法令『月刊国語教育』1年4月号 P24~49	平1・4
61	(巻頭言) 今日の読書指導の問題 日本国語教育学会『国語教育研究』214	2・3
62	(巻頭言) どんな力をと問う勿れ 同上 『国語教育研究』254	5・6